

園長だより 第3号「整えるということ」

「整える」という言葉があります。国語辞典で意味を調べてみるとこのように書いてありました。

「整える」 乱れていない状態にする。

子どもたちが保育園で、あるいはお家で生活していく中で「整える」ことはたくさんあります。

服装を整える。

言葉遣いを整える。

おもちゃを整える。(片付ける)

靴を整える。(揃える)

生活のリズムを整える。 等々

色々な「整える」がありますが、どれも最終的には「気持ちを整える」ということにつながっていくような気がします。「逆もまた真なり」で心が整えば、自然と全てのものが整えられるようになるものです。

子ども達は年齢・月齢が進むにつれて成長していきます。もちろん、同じ年齢・月齢でも一人一人に個性があり、その成長の仕方や度合いは変わってきます。ただ、整えることができないままで大人になるわけにはいきませんね。今はまだ整えられないことも少しずつ整えられるようにしていくことが大切です。どうすれば整えることのできる子どもになってくれるのでしょうか。上手にほめたり上手に叱ったりすればいいのですが、「上手に」というのがなかなか難しいですね。でも、一番簡単で効果的な方法があります。

それは保護者の皆さんが「整える」ということを意識することです。保護者の皆さんが靴を揃えれば、お子さんも揃えるようになります。「ママのように揃えてごらん」という言葉には説得力がありますよね。保護者の皆さんが丁寧な言葉遣いでお子さんと接していれば、お子さんも丁寧な言葉遣いになります。「お友だちにはパパのように優しい言い方をしてあげてね」という言葉にも説得力があります。

昔から「学ぶ」ということは「真似る」ところから始まると言われてきました。お子さんは否が応でも保護者の皆さんの言葉遣いや行動を真似します。「子どもは親の背中を見て育つ」という言葉もあります。全てがそれに当てはまると思えませんが、否定することはできません。父親がタイガースファンだから息子もタイガースファン(私の家です)というような笑えることならいいのですが、残念ながら子どもは私たちのいいところばかり真似してくれませんからね。

仕事をしながら子育てをするのは本当に大変です。私も何度も音を上げてしまいそうになったことがありました。でも、夜、子どもの寝顔を見る度に頑張ろうと思うことができました。親としてわが子の健やかな成長を願うのは当然のこと。お子さんが心身ともに健やかに成長するために、「整える」ということを少し意識して頂ければ嬉しく思います。